



# 士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24

RI 第 2500 地区

Vol. 034

No. 2341

## 地域を育み、大陸をつなぐ

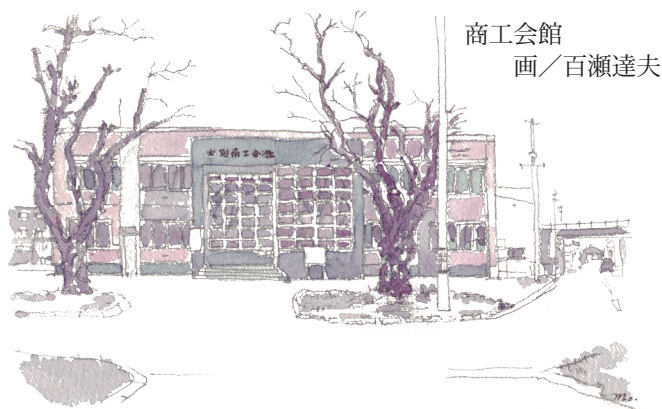
2010～2011 年度 RI 会長 レイ・クリングスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

士別 RC テーマ:

「ロータリーを見つめ、明日の地域へつなごう」

商工会館  
画/百瀬達夫

- 例会場/士別グランドホテル
- 例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所/士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
- 会長/神田 英一 ●副会長/若森 孝
- 幹事/宮崎 隆雄

## 第 2422 回例会 2011 年 4 月 25 日 (月)

### 本日のプログラム ・夜間例会

### 前回 (4 月 18 日) の記録

・例会・ゲスト卓話 (2011 年度 JCI 会頭特別補佐 片庭 隆暁 氏)

司 会 本山忠之会場監督

斉 唱 我等の生業

本日の出席 会員 53 名中 出席者 38 名 出席率 71.69% 修正 77.35%

本日の欠席 川橋勝美、菊地 博、北村浩史、黒田康敬、佐藤元保、汐川泰晴、菅原清人、  
鈴木 勉、佐藤和彦、高山 稔、武田 修、中川涼一、中村徹雄、深尾幸夫、  
渡辺正一

メイクアップ

ビ ジ タ ー

ゲ ス ト 片庭隆暁氏 (JCI 会頭特別補佐)

ニコニコBOX

累計 287,000 円

## 例 会 予 定

### ● 4 月例会日 (ロータリー雑誌月間)

- 4 月 4 日 (月) 例会・理事会
- 4 月 11 日 (月) 例会
- 4 月 18 日 (月) 例会
- 4 月 23～24 日 PETS・地区協議会 (旭川)
- 4 月 25 日 (月) 夜間例会

### ● 5 月例会日

- 5 月 2 日 (月) 早朝例会
- 5 月 9 日 (月) 例会・理事会
- 5 月 16 日 (月) 例会
- 5 月 23 日 (月) 例会
- 5 月 30 日 (月) 夜間例会

## ■会務報告 神田英一会長

本日は士別青年会議所の片庭隆暁さんをゲストにおむかえしております。片庭さんは、昨年 JC の北海道地区協議会の会長を務められ、本年は JCI 会頭特別補佐として出向されております。

●先週 14 日ゴルフ場がオープンしました、昨日の日曜日ラウンドを楽しみにしていた方もいらしたと思いますがあいにくの雪で残念なことでした。

●先週の 12 日新旧クラブ協議会が開催されました。今年度各委員長から事業報告と課題等を発表してもらいました。本年も各委員会は活動計画にもとづいた活動をしていただいております。次年度につきましては、クラブ協議会の内容と、23 日 24 日 PETS、地区協議会での RI 会長方針、ガバナーの地区方針、各委員会の活動内容の説明を参考に、次年度ロータリーの活動計画作成に役立てて頂きたいと思っております。

●東日本大震災に関して新聞に毎日死亡者数と行方不明者数が載っています。死者の数は増え、行方不明者の数は減っていますがその数はあいまい、おそらく行方不明者の中に生存が確認できた人がいるのだと思いたいです。

●本日 10 時から本年士別で開催されますスポーツに関するイベントの会議がありました。

・6 月 29 日開催 2011 ホクレンディスタンスチャレンジ

・7 月 24 日開催 第 25 回サフォークランド士別ハーフマラソン大会

・10 月 2 日開催 2011 オリンピックデーラン士別大会

デーランは政府の事業仕訳により、予算が半分になってしまいましたがその中で実施することになりました。

## ■幹事報告 宮崎隆雄幹事

1. 下川 RC より、3 月の会報と 4 月の例会案内が届いております。資料台に置いてございますのでご観覧下さい。

## ■次年度報告

### ●伊藤優市次年度幹事

1. 7 月 2 日、3 日に開催されます、「ふれあい広場 2011in しべつ PART28」の協力依頼が来ております。例年、社会奉仕委員会に担当をお願いしております。本年も同様に進めさせていただきますので宜しくお願いいたします。

## ■ゲスト卓話

### ● JCI 会頭特別補佐 片庭隆暁氏

この場に立たして頂くのは 14、5 年前にライラセミナーに参加させて頂き、その時の報告以来で久しぶりの事です。

昨年は青年会議所で北海道地区の会長を務めさせて頂き、そして今年は JCI（国際青年会議所）会頭特別補佐を務めさせて頂いておりますので、その事について本日はお話をさせて頂きたいと思っております。

本年の日本青年会議所は特別な年で国際青年会議所の会頭を日本から排出しております。これは 60 年間の歴史の中で 4 人目の会頭で 16 年ぶりになります。広島県福山市、福山青年会議所の原田憲太郎君が JCI の会頭です。

JCI は国連と密接な関係でありまして、青年会議所のマークも国連のマークが入っており、国連のマークを使用することを許されている数少ない団体です。我々 JCI の活動は国連と連動して行われています。特に力を入れて活動していることは 2 つございます。1 つはグローバルコンパクトで世界中の

企業で子どもたちを使って仕事をするような人権の無い行動を無くす運動を世界でやっております。2つ目はナッシングバックネッツキャンペーンで特にアフリカでマラリアで亡くなる事もたちが多いのでそれを撲滅する為に世界中から募金を集めてカヤを贈る運動をしております。マラリアと云う病気は世界でも最も人を殺した病気だと言われており、特效薬も有りませんし予防することもまだ出来ません。0歳から5歳までの子どもたちが30秒に1人が亡くなっております。昨年日本でもこの運動をやっていこうと力を入れておりますが、去年1年間で日本だけで1,600万円が集まり、実際にアフリカへ人を派遣し現地で住友化学がカヤを作っておりますので、作っている所から家族の手に渡るまでを追いかけて活動をさせて頂きました。

日本からメンバーを派遣して行きましたが、病院等も訪問してきましたが、病院もマラリアの患者でいっぱいになっており廊下にも子どもたちが寝ている状況で行ったメンバーもショックを受けて帰ってきて是非この事業を力を入れてやろうと云うことでやっております。この運動を世界で展開をしております。

世界で青年会議所は122カ国で有り、これを統括しているのが、JCI（国際青年会議所）です。大勢の人数でJCIは運営されていると思われておりますが、実際は100人しか居らず、自分たちが何かをするのではなく、各国にやって貰うと云う形で会頭や副会頭が各国を廻って運動をやって貰うようお願いをしております。私も会頭特別補佐と云うことでそれほど数はございませんが会頭と行くこともありま



す。日本に居ると余り分かりませんが世界に行きますとJCIの会頭は非常に力が有りまして、特にアフリカの様な治安の悪い国に行きますと警察の護衛が付いて赤信号などの無視をして走っていきます。何所に行くのかと思ったらその国の大統領や首相と会ってJCIの活動をやって貰うように話してきます。各国のトップと話が出来る。日本大使館に行っても必ず全権特命大使が迎えてくれると云うくらいJCIの会頭は世界的には知名度のある役職でございます。日本は16年間なかなかJCIの会頭が出せなかったのはJCI会頭に成るにはJCIの副会頭とか常任副会頭などの役を積み重ねて行かなくてはなりません。JCIの会頭は年間300日、日本に居ない事になります。副会頭でも年間200日は日本に居ない事になります。JCIの会頭に上がっていくまでに5年位JCIに出向しなければ成りませんので膨大な年月、日本に居なくて良い人物がなかなか居なく、日本もやっと16年ぶりに原田憲太郎君を送り出したと云うことでございます。日本青年会議所からはJCIに会頭や私を含め10人のメンバーがJCIに出向しておりますが、アジア内で行われます大会には日本からは1,000人ぐらいのメンバーが参加致し、世界会議には



300人ぐらいのメンバーが参加を致します。

青年会議所は何をやっている団体だと言われますが、青年会議所は人を作る団体です。日本青年会議所は国際的な大会や会議に人を送り込んで行くのかと云いますと、海外に行くと日本で常識に思っている事も海外では常識では無いと云うことが多くございます。自分自身が思っている固まった考え方を崩して行かなくては国際の舞台では活動できません。私も色々な国に行きましたが、アフリカのチュニジアに行ったときは飛行機を降りても荷物は一緒に届かない事が多く空港職員に交渉しても言葉が通じず、到着が夜中に成るため職員も少なく難航致します。また、夜中の到着の為、ホテルに向かうにしてもタクシーも居らず、私はJTBのパックで行っておいりましたので迎えに着て居りましたので問題は無かったのですが、他の個人で航空券を取ったメンバーは朝まで空港で待機し電車が動いてから電車で移動しましたが、何所で降りて良いのか分からないまま電車に乗りました。話では車で1時間ぐらいでホテルに付くと聞いていたらしく、時計を見ながら電車に乗って大体の時間の所で電車を降りてタクシーに乗ろうとしたがまたタクシーが居なく、結局は地図を見ながら街の中を荷物を引っ張りながら2時間ぐらいかけてホテルに付いたと云うことです。海外へ行くと様々なトラブルがございます。誰かが助けてくれるわけでもございませんので、自分で何とかしなければ成らない訳でございます。この様な体験もまたその人を大きくしていくのではないかと思います。

世界に出て行くことは特に士別に

住んでおりますと縁遠いところもございますが、青年会議所の活動も日本だけで活動をしているメンバーと世界を渡り歩いているメンバーとはどちらが最終的に強く成っていくと云いますと、やはり色々な経験をしているメンバーの方が圧倒的に力が付いていきますし、原田JCI会頭がよく言っておりますが青年会議所と云うのはレストランでは無いとよく云っております。レストランに行ったら座っていれば料理や飲み物が出て来る物ではありません。

青年会議所はスポーツジムの様な物で自分で会費や入会金を払って自分自身で体を鍛えてやっていくのが青年会議所であると言っております。私自身も昨年そして今年と色々な所に行かせて頂き、海外に行きますと見えないところも見えて来ました。非常に良い経験をさせて頂いております。

本年は会頭特別補佐と云うことで会頭と一緒に行動をすることも色々ございます。フィリピンでアジアの会議がございますし、その後ニューヨークの国連で会議が有り、ベルギーで世界会議がございます。私もJCIに出向の役員でございますので、アスパック世界会議の総会に於いて私の仕切りの元に1つの事業を開催しなければ成りません。私も本年度で青年会議所も終わりに成りますが、非常に良い場を与えて頂いたと思います。

世界青年会議所、日本青年会議所そして士別青年会議所も一生懸命活動しておりますので、今後ともご支援、御協力を賜れば更に世界は良く成っていくと思いますので今後とも宜しくお願いいたします。

本日は良い機会を与えて頂き大変ありがとうございました。